

# みんなができること

## 君たちにもできることがある

大量絶滅を引き起こしているのは、他でもない私たち人間なのだ。だったら、大量絶滅を食い止めることができるのも私たち人間である。

生物多様性と絶滅問題、君たちにはちょっと難しいと感じるかもしれない。だけど、君たちの生活は生物多様性と確実に繋がっているし、君たちの行動が生物多様性を守ることに繋がることがたくさんある。それに君たちの行動は、大人たちを動かし変える力をもっている。

### こんなことから始めてみよう!

生物多様性を守るはじめの一步は、まず、生き物に関心を持ち、近所の自然について知ることだ。その次に、身近で簡単なことから行動してみよう。

#### 知る

- ・通学路や校庭にどんな生き物がいるか注意して見てみよう。
- ・近所の自然(雑木林、小川、田んぼなど)を観察しよう。  
たくさんの生き物がすんでいることに気づいてあげよう。
- ・大人たちに、昔は近所にどんな生き物がいたか聞いてみよう。  
そして、今どんな生き物がいるのか、教えてあげよう。

#### 行動する

- ・近所の自然で知ったことや、この本のことを家族や友達に話してみよう。
- ・お店では、減農薬など生き物にやさしい方法でつくられた食べ物を選ぼう。
- ・食べ物に感謝しよう。食べ物になった生き物が、どこで生きていたのか、何を食べていたのか想像してみよう。
- ・ペットは死ぬまで飼おう。飼い続ける自信がなければ飼わない。飼えなくなっても決して捨てないようにしよう。
- ・近所で自然保護に取り組んでいる団体を調べてみよう。できれば見学してみよう。



他にも何かできることがあるかもしれないよ。考えてみよう。



未来の子どもたちが幸せに暮らせるために何を残すのか、それはお金だったり、モノであったり、便利さであったり…さまざまな意見がある。その中で自然のめぐみは忘れ去られがちじゃった。  
最近では、未来の子どもたちに豊かな自然を残そうと立ち上がる学校や大人たちが増えてきておる。

## 各地の取り組み

### 絶滅のおそれのある生き物を守る小学校

県内の小学校では、絶滅が危ぶまれている生き物を保護して増やしているところもある。



水生植物ガシャモクの保全  
(北九州市立市丸小学校)

### コウノトリの復活

コウノトリは翼を広げると2mにもなる大きな鳥だ。江戸時代までは、全国各地に見られたが、乱獲や自然環境の悪化で数を減らし、1971年、兵庫県豊岡市で野生最後の1羽が死んで、日本の空から姿を消した。それから約40年たった今、再びコウノトリは豊岡の空を舞っている。



「コウノトリも住める豊かな環境は、人間にとっても暮らしやすい環境にちがいない」こう考えた住民たちは、コウノトリと共に生きるまちづくりを進めてきた。コウノトリが生きていくためには、餌となるドジョウやカエルなどの生き物あふれる田んぼや水路が必要だ。巣をかける大きな松の木も必要となる。コウノトリだけでなく、いのちのつながりを丸ごと回復することがコウノトリ復活につながった。

### 生物多様性と生き物のことがわかるホームページ

- 環境省生物多様性センター 生物多様性ホーム … <http://www.biodic.go.jp/biodiversity/>
- インターネット自然研究所 … <http://www.sizenken.biodic.go.jp/>
- 自然大好きクラブ … <http://www.env.go.jp/nature/nats/>